

うきは市 地域住民説明会 小塩地区

日時：9月30日（火） 19時～20時

場所：小塩コミュニティセンター

参加者：17人

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）
福山コンサルタント

■質疑応答

- ・ 小中一貫校ということは、1～9年生になるということか。
→「義務教育学校」ということであれば、1～9年生。「小中一貫校」であれば、小学校1～6年生と中学校1～3年生に分れる。
- ・ P25について、「学童の整備」とはどういうことか？
→それぞれの地区に学童を残した方がよいのか、一校にまとめて学童を整備した方が良いのか、といった問題提起としてご意見を頂いている。
- ・ 早ければ5年後にとあったが、既に建設の検討が進んでいるということか。
→最低でも5年にかかるであろうという意味である。
- ・ スクールバスについて部活動をしている子どもたちへの対応はどのようになるのか。
→この4月からは、山3校の地区の中学生は登校のみスクールバスに乗車している。
部活動をしている生徒は帰る時間がまちまちになるので、中学生は行きだけスクールバス、帰りは各々ということになっている。まだ明確な検討はなされていないが、今後、新しい学校になっても同様ではないかと思われる。
オンデマンドバスを活用して、より柔軟に生徒たちの登下校に対応できればと考えている。
- ・ 現中学校に一体化するとして、浮羽中の敷地が変則的であるが必要な施設がちゃんと入るのか。
→関係者のみなさんからご意見があった必要な施設を踏まえて、ボリュームスタディの結果、現状の敷地形状のままで統合は可能と考えている。
- ・ 合併してから、浮羽地区が少しさびれた気がする。このあたりも踏まえて検討して頂きたい。
→小中学校の再配置後も御幸校区が寂れないようにみなさんと一緒に検討していきたい。
- ・ 吉井町域も同様の検討がなされているのか。
→今のところ、吉井町域での検討はしていない。
- ・ 制服はどうなるのか。
→制服は小学生も含めて今後の検討課題である。
- ・ 市と保護者の意見の違いはないのか。
→市としては、現在の3小1中を維持していくコスト負担は大きい。

→スライドにもあったが、小さい段階からある程度の大きな集団で育つことのメリットは大きいと考える。また、中一ギャップなども低くなるものとする。

→何よりも、環境の変化が少なく、中一ギャップも低くなり不登校児への対応にもなりうると思う。

- ・ 施設整備・維持管理・運営の効率化で予算が減少する分、教育環境の充実に予算が充てられると考えて良いのか。

→完全にその通りとは言いきないが、ある程度教育の充実に注力することができるものと思われる。

- ・ 統合後に小学校がなくなった地区についても、今後のあり方についてしっかりと考えていく必要がある。すべて地域が自力でやっていくというのは難しい。

→ご意見として承る。

以上